

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
30冊(26人)6/8現在

(自分に自信と夢を~いまをだいに、なかまとともに、一步前進をめざして~) 校長 宮脇真一

本校のHPでも紹介しましたが、7日(水)に実施した1年生の校外学習(通学路たんけん)では、8名の保護者ボランティアの皆様、児童の見守りの御協力をいただきました。

また、水曜日の下校時には、東区のバス待ち児童の見守りにも学校運営協議会からお願いした皆様に御協力をいただいています。より多くの方に関わっていただくことで、子どもたちの安全・安心を担保できます。御協力に感謝いたします。

週明けには、学校運営協議会の山本会長から、水泳学習時の見守りについてのお願いがアプリで発信されます。ご覧いただき、御協力をいただくと助かります。よろしくお願いたします。



御協力に感謝(2023/6/7撮影)

水泳の学習について ~こどもの命と気持ちを守るために~

今週は、雨の合間に6年生の児童と職員で、プールの掃除を行いました。今後、給水や機械の点検などが順調に進めば、早い学年は来週半ばにはプール開きができそうです。

水泳の学習を行うにあたっては、児童の心身の健康状態を確実に把握するとともに、安全の確保に万全の体制で臨む必要があります。各学年の通信でもお知らせしているように、ご家庭での健康観察を行い、プールカード(持ち帰り忘れた場合は連絡帳)に記入して確実に持たせてください。

(連絡の行き違い防止のため、水泳への参加の有無については、電話・アプリでの連絡は控えてください)



掃除を終えて、給水中!

心のきずなを深める月間 ~6月は心のきずなを深める月間~

「互いを尊敬し合ってつながりを深める」

とても大切な言葉です。昨年度の通信でも書きましたが、本校では、互いを呼び合うときに「さん、くん、ちゃん」をつけることを約束しています。また「優しい気持ちで話す、優しい気持ちで聴く」ことを大事にしています。しかし、心ない言葉で相手を傷付けたり、逆に気持ちが沈んだりすることは皆無とは言えません。そんな時、心の支えになるのは、なかまの存在です。自分の気持ちを受け止めてくれるなかま、ともに気持ちを伝えようとするなかまの存在は一番の力です。

これも繰り返しになりますが、互いの心を理解し合い、互いを尊敬し合う関係の出発点は「心を開き、相手に迫る」という行動、つまり挨拶にあります。ですから「相手が挨拶をしない」ことを責める前に、「自分が挨拶をしているか」振り返ることが大事です。言葉での挨拶、身振り、手振りでの挨拶、会釈……方法は様々です。「大きな声で元気よく」だけでなく「場の状況に応じて、相手を思いやる挨拶」も必要です。昨今の社会情勢から「知らない人に声をかけられても簡単には応じない」状況もありますが、私たち大人が率先して挨拶を交わす姿を示していきたいものです。